



第13回日本脳血管・認知症学会総会
アフタヌーンセミナー1

血管障害の影に潜む てんかん、認知症

座長

金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学

小野 賢二郎 先生

演者

国立循環器病研究センター脳神経内科

田中 智貴 先生

●日時・会場

2023年 8月5日(土)
15:40~16:20

学会への参加登録が必要なため、詳しくは学会HPにて
ご確認のうえ、お手続きください。

<https://www.plus-s-ac.com/vas-cogj/soukai.html>

第1会場 (タワーホールA)

〒106-6149 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー49F

共催 第13回日本脳血管・認知症学会総会 /
PDRファーマ株式会社

後援 日本脳神経核医学研究会 / 日本核医学会



演題

血管障害の影に潜むてんかん、認知症

国立循環器病研究センター 脳神経内科 田中 智貴 先生

超高齢化社会において、脳血管障害、認知症、てんかんは重要な疾患である。脳卒中後にてんかんが約5-10%、認知障害が約30%程度に発生するとされる。特に、アジアの国々においては、脳小血管病のリスクが欧米より高く、より血管障害によるてんかん、認知障害への理解が重要となってくる。さらに、これらの疾患はそれぞれが独立しているわけではなく、お互いに影響し合っており、我々の脳卒中後てんかんのコホート研究においても、脳卒中後てんかんの約30%の症例に認知障害を呈していることが分かっており、高齢者の身体的、心理的、社会的な問題をもたらしている。これらの疾患に対する適切な治療を行うためには、包括的な理解が必要であり、最新の知見を踏まえて、血管障害の影に潜むてんかん、認知症のリスク、診断について報告する。

日本脳神経核医学研究会及び日本核医学会入会のすすめ

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、核医学の発展のために、是非本研究会、学会にご入会いただきますようお願い申し上げます。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内
Tel:03-3508-1243 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp



JCNN